



と う ぎ ん ゆ う 東山の雄

一関市立千厩中学校
学校だより第 18 号
令和 7 年 9 月 1 日
文責：坂本 真

科学の不思議を体験しました

8 月 27 日（水）に一関文化会議所主催の「東大生出前科学授業」が本校体育館で行われました。東京大学の学生 8 名を講師に、3 年生の理科の授業時間に行いました。「液体窒素」、「化学実験」、「数学」、「物理実験」の 4 つのブースで実験を体験したり、現象の仕組みを聞いたりすることができました。液体窒素を使った実験では、温度によって空気の状態変化が起こり、風船がしぼんだり膨らんで爆発したりする現象を見ることができました。日常生活では存在しない超低温で、見慣れた物体がどのような状態になるのかを実感することができました。他のブースにおいても科学の奥深さを知る貴重な体験をすることができました。



千中生の英語力を発揮してきました

8 月 29 日（金）に川崎市民センターで第 17 回一関地方中学校英語暗唱大会が行われました。本校からは 3 年生の さんが出場し、堂々と発表を行いました。特に発表した「Faithful Elephants」の戦争で犠牲になった象への悲しみや動物園で象をお世話する飼育員さんの愛情を表現することができました。夏休みからの練習の成果、千中生の英語力を発信する貴重な場となりました。



千中生の歌声をホールに響かせました

8 月 31 日（日）にトーサイクラシックホール岩手で全日本吹奏楽コンクール岩手県大会が行われ、特設合唱部 33 名の生徒が参加しました。大ホールのステージ・大勢の観衆の中での緊張した様子も見られましたが、合唱曲「僕らはいきものだから」の歌詞に込められた思いを表現し、最後まで歌い終ることができました。歌詞の中にある「僕らに待ち受けている出来事の 全てが宝だ」の言葉の通り、この貴重な経験はきっと宝になると思います。千中生のこれからの合唱活動に期待しています。

